

申請書類の記載方法について

(ア)「化学肥料低減計画書」(様式第 1-3 号)

(業務方法書 様式第 1-3 号)

化学肥料低減計画書

作付概要	
作物名	作付面積(a)
〇〇〇	
〇〇〇	
その他	
計	

氏名(法人・組織名) _____
住所 _____
電話番号 _____

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付けてください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上(タまたはチを選択する場合は1つ以上)必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含む

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等を含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、溝注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト削減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(アースに保るものを除く)		
ソ 地域特産技術の利用()		
タ 信州の環境にやさしい農産物認証		
チ 有機農業(有機JAS認証または、環境保全型農業直接支払交付金の有機農業に該当)		

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。
※チェック欄にチェックした上で署名してください。
氏名(自署) _____

【①作付概要】

「作付概要」には、申請する肥料を使用する作物のうち、低減に向けた取り組みを行う作物について記載してください。取組を行わない作物については、まとめて「その他」として記載し、合計欄にはすべての作物の作付面積合計を記載下さい。

※ 化学肥料の低減に向けた取組は、全ての品目で取り組む必要はなく、全作付面積の半分以上を占める作物(代表的な作物)があれば、その作物で取り組んでいれば対象となります。なお、代表的な作物が無い場合は、それに準ずる作物群のうち2品目以上の取り組みが必要となります。

【②取組メニュー】

i) 「前年度までの取組」

・ これまでに取り組まれているものがありましたら「○印」を記入してください。

ii) 「令和4年度又は令和5年度の取組」

・ 今後、取り組めるものに2つ以上「○印」を記入してください。(タとチは1つでも良いです。)

・ これまでに取り組んでいるものと同様でも構いませんが、その場合は、1つ以上は「新たな取組」又は「従来の取組の強化・拡大(◎印で記入)」を含めて下さい。(なお、タとチは不要です。)

☆ 「従来の取組の強化・拡大」とは？

「ア：土壌診断による施肥設計」の例示： 取組面積を拡大する。調査点数を拡大する。 など

「キ：有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用」の例示： 有機質肥料の使用割合を増加する。 など

【③チェックと署名】

・ チェック欄にチェックしたうえで、署名してください。

【④氏名など】

・ 氏名、住所、電話番号を記入してください。

(イ)「肥料価格高騰対策事業申請に係るチェックリスト」(県別紙様式1)

(県別紙様式1)

肥料価格高騰対策事業申請に係るチェックリスト

次に掲げる事項を確認したうえで、肥料価格高騰対策事業及び肥料価格高騰緊急対策事業の申請を行うとともに、裏面の「個人情報の取扱い」に記載された内容について同意します。

令和 年 月 日

■取組実施者(農業者グループ)名 信州うえだ農業協同組合

・住所

・氏名(自署)

- チェック項目に
- 過去1年以内に、農産物を販売している。
 - 過去1年以内の農産物の販売は無いが、認定新規就農者として、市町村から認定されている。

- 本事業に参加することのできる農業者は、農産物を販売し、農業経営を行う方または認定新規就農者である必要があります。
- 事業の申請に当たっては、販売農業者の方は直近の農産物の販売伝票等を認定新規就農者の方は認定証の写しを取組実施者へ提出してください。

申請する肥料は、全て「肥料の品質の確保等に関する法律」に基づき、登録または届出された肥料である。

- 注文伝票や領収書等に記載されている肥料は、全て「肥料の品質の確保等に関する法律(肥料法)」に基づく肥料である必要があります。
- 申請する肥料が肥料法に基づく肥料に該当するかは、購入されたJAや肥料販売店におたずねください。

- チェック項目に
- 他の取組実施者(農業者グループ)に参加していない。
 - 他の取組実施者(農業者グループ)に参加しているが、申請した肥料は重複していない。(下欄に参加グループ名を記載してください)

- JAと肥料販売店など、異なる複数の取組実施者(農業者グループ)に参加する場合、申請する内容が重複しないようにしてください。
- 異なる取組実施者に参加している場合は、下の欄にグループ名を記入してください。

取組実施者名①	取組実施者名②	取組実施者名③

取組実施者(農業者グループ)が定めた事務手数料の徴収に同意する。

- それぞれのチェック項目の内容を確認し、チェックして下さい。(5項目)
- 『個人情報の取扱い』の記載内容を確認して下さい。
- 全ての内容を確認し、肥料価格高騰対策事業に申請するとともに個人情報の取扱いについても同意する場合「住所」及び「氏名」を記入下さい。

【留意事項】

- ①全部又は一部の農畜産物をJA(直営の直売所を含む)に出荷されている販売農業者においては、販売伝票等の提出は不要です。
- ②JA以外から肥料を購入されている方で、肥料販売店などを通じて同事業に申請する場合は、その取組実施者名を記入して下さい。

(ウ)「支援金振込口座申請書」

記入例

令和5年 ●月 ●日

信州うえだ農業協同組合 御中

住所： 上田市 ●●●●●●

氏名： 農協 太郎

肥料価格高騰緊急対策事業に係る振込口座について

肥料価格高騰緊急対策事業に係る振込口座を下記のとおり提出します。

記

支援金の振込口座

金融機関名	
信州うえだ農業協同組合	
支店コード (数字3桁)	支店名
● ● ●	●●●支店
預金種別 (該当のものにシ印を付けてください)	口座番号 (7桁に満たない場合は、右つめて記入)
<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> その他	1 2 3 4 5 6 7
口座名義	
カナ	ノウキョウ タロウ
漢字	農 協 太 郎

左記の記入例に沿って記入願います。

〔工〕「肥料価格高騰対策にかかる肥料購入明細書（HP用）」

肥料価格高騰対策にかかる肥料購入明細書（HP用）					
No.					
	組合員名：	支所コード：		組合員コード：	
	住所：				
No.	購入日	品名	購入数量	購入金額(税込、円)	領収証 又は請求書
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

60					
				円	① 申請金額合計
★東御市が実施している「農業用生産資材調達支援事業補助金（農業用肥料の購入補助）」に申請している方のみ。					
	②市からの助成金額			円	

「肥料価格高騰対策にかかる肥料購入明細書（HP用）」

★ JA口座取引で購入している場合は、地区事業部営農課までお問い合わせ下さい。

【依頼事項】

- 令和4年6月1日から令和5年3月31日までの間にJAから購入した肥料で、申請される場合は記入下さい。
なお、その際は「請求書又は領収書」（購入日、購入肥料名、購入数量、購入金額がわかるもの）を必ず添付ください。
- 肥料法に基づく肥料か判断つかない場合は、JAへお問い合わせ下さい。
- ①の欄へ、申請金額の合計額を記入ください。
- 【東御市在住の方のみ対象】
東御市が実施している「農業用生産資材調達支援事業補助金（農業用肥料の購入補助）」に申請している場合は、助成金額を②へ記入してください。